

全国ユース 環境ネットワーク

第9回全国ユース
環境活動発表大会
全国大会&地方大会の
内容を掲載しています。
本誌・中面を
ぜひご覧ください。

第9回 全国ユース環境活動発表大会
全国大会出場16高校 活動の様子・テーマなど



福井県立福井商業高等学校



ノートルダム清心学園 清心女子高等学校



北海道岩見沢農業高等学校



山形県立村山産業高等学校



北海道土幌高等学校



栃木県立矢板高等学校



兵庫県立農業高等学校



長野県佐久平総合技術高等学校



玉川学園高等部



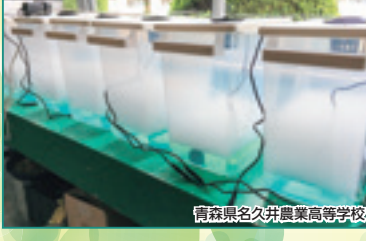
奈良県立磯城野高等学校



愛媛県立長浜高等学校



愛媛県立大洲農業高等学校



青森県久井農業高等学校



熊本県立熊本農業高等学校



熊本県立南陵高等学校



山口県立周防大島高等学校

第9回 全国ユース環境活動発表大会

令和6年2月3日(土)～2月4日(日)、国連大学ウ・タント国際会議場とレセプション・ホール(東京都渋谷区)で、「第9回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会」が開催されました。全国8地方の地方大会で選ばれた16高校が出演。日頃より熱心に実践している環境活動、SDGs活動を元気いっぱいに発表しました。

また、大会冒頭、八木哲也環境副大臣より高校生にメッセージをいただきました。



ご挨拶

環境副大臣

八木 哲也



皆さん、おはようございます。環境副大臣の八木哲也です。

「第9回全国ユース環境活動発表大会全国大会」への出場、おめでとうございます。

また、大会の開催に当たりご尽力いただいた環境再生保全機構と国連大学の皆様、後援・協賛をいただいた企業の皆様に、心から感謝申し上げます。

令和5年度は115団体から応募があり、今回16団体が発表されます。

多くの若い皆さんがそれぞれ、自らの暮らしの中で地球の未来や環境問題に関心を持って、仲間とともに知恵を出し合い、高校生ならではの発想で解決策を提案していただきました。素晴らしい内容ばかりです。一生懸命仲間と取り組んだことは、皆さんの一生の中で輝く1ページになると確信しています。

自ら問題を見つけ、仲間を集ってともに将来のことを考えることは、これから社会人になる高校生の皆さんにとって大きな糧となると思います。

昨年夏の異常な暑さは皆さんも経験されたとおり、気候変動問題などの環境問題は、現在危機的な状況にあります。昨年開催されたCOP28においても世界各国の代表者が集まって真剣な議論が行われましたが、将来に渡って人類の英知を結集して取り組んでいく必要があります。若い皆さんに、自分事として関心を持ち続けていただき、社会人になっても、環境問題の解決に力をお貸しいただけることを期待しています。

全国各地で素晴らしい取組を行っている全国の高校生の皆さん、生徒に寄り添い、活動を支えてくださっている先生・保護者の皆様、地域の皆様に、感謝の気持ちをお伝えして、私からのメッセージとさせていただきます。

第9回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会 記念写真





第9回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会

〈実施概要〉

日程 令和6年2月3日(土)～2月4日(日)

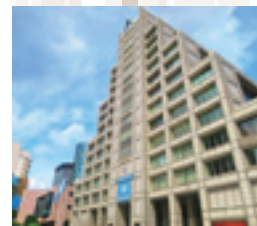
会場 国連大学 ウ・タント国際会議場、レセプション・ホール

主催 全国ユース環境活動発表大会実行委員会
(環境省／独立行政法人環境再生保全機構／国連大学サステナビリティ高等研究所)

後援 読売新聞社

協力 環境省地方環境パートナーシップオフィス(EPO)／地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)／ESD活動支援センター

協賛 キリンホールディングス株式会社／協栄産業株式会社／SGホールディングス株式会社／株式会社タニタ



会場：国連大学
(東京都渋谷区)

受賞校のみなさん、おめでとうございます！

全国大会に出場した高校(団体)は、いずれの活動内容も発表もすばらしく、審査を経て環境大臣賞をはじめすべての出場高校に賞が贈られました。表彰された16高校の活動をご紹介します。

環境大臣賞

栃木県立矢板高等学校 **農業技術部畜産班**

未来へつながる放牧牛～ビーフダイバーシティと避難放牧～

「放牧牛」は、輸入飼料に頼ることなく、自然の草を食べて育ちます。耕作放棄地対策や野生動物対策など持続可能な畜産として注目されています。私たちは、放牧牛の流通・販売や新たな国産飼料の開発、さらには家畜防災システムの構築などSDGsに繋がるストーリーを提供して、放牧牛ファンを増やす活動に取り組んでいます。



環境再生保全機構 理事長賞

熊本県立熊本農業高等学校 **養豚プロジェクト**

養豚業のゼロエミッション#産業廃棄物に輝きを！

私たちは、エコフィード開発により廃棄物ゼロを目指した活動を行ってきましたが、豚脂や分娩時に排出される胎盤が廃棄されていました。そこで、マッチングサイトを開発し、食品企業と畜産農家のマッチングに成功。高洗浄力で環境に優しい洗濯石鹼も完成。豚脂粕や胎盤を利用出来たことで養豚業のゼロエミッションを達成しました！



国連大学サステナビリティ高等研究所 所長賞

青森県立名久井農業高等学校 **FLORA HUNTERS**

水がなくなる前に～超節水栽培の開発～

地球で利用できる淡水はわずか0.01%しかない。人間はその70%を農業に利用している。私たちが考案したのは、ごく少ない養液を霧状に噴霧する栽培システムである。従来の水耕栽培より使用する水を70%以上も大幅に節約でき、噴霧する時間帯を変則的にプログラムすることで水耕栽培ながら高精度トマトも生産可能になることを明らかにした。



読売新聞社賞

愛媛県立長浜高等学校 **水族館部「あらぶるぶりのあらぼね救助隊」**

魚の中落ち活用でフードロス削減！缶詰「ブリの骨じゃん」の開発

ブリは、出荷の際に食品としてはあまり利用されない大量の中落ち(中骨)が発生します。私たちはこの中落ちを食品利用できないかと考え、調味液の濃さを変えたり、酢で事前処理したりするなどした結果、中骨を柔らかくし、栄養豊富でおいしい缶詰に仕上げました。今後もフードロス削減を目指します。



第9回 全国ユース環境活動発表大会

受賞校のみなさん、おめでとうございます！

高校生が選ぶ特別賞

玉川学園高等部 玉川学園サンゴ研究部

私たちの手でサンゴを海へ！～玉川学園サンゴ研究部の活動～

サンゴ研究部では、「サンゴの移植活動」や「研究活動」、「活動の広報」などを行っています。また、現地の学生との共同研究も実施しています。沖縄県伊江島町のサンゴを学校で育成し、現地の海に移植しています。生態や環境問題についての研究も行っています。今後もサンゴを守るため、様々な活動を継続して実施します！



先生が選ぶ特別賞

熊本県立南稜高等学校 総合農業科環境コース林業専攻

復興！『がんばろう！人吉・球磨』～地域資源を活用した木育活動で甦る、元気と笑顔と活性化の輪～

大好きな故郷の元気と笑顔と豊かな自然環境を取り戻すため、林業の専門性を活かした『木育』と『災害に強い森づくり』に取り組んできました。避難所や仮設住宅から始めた木材を活用した本活動は、延べ10,000人を超える参加者の笑顔を生み出しています。これからも支援への恩返しのご気持ちを込めて活動を継続していきます。「がんばろう！人吉・球磨」を合言葉に。



協賛企業特別賞

福井県立福井商業高等学校 JRC部とその仲間たち

海岸清掃とごみ調査に嫌気がして脱プラ・水の活動始めました

冬の三国サンセットビーチ清掃は、うんざりするほどごみがあります。毎回「海はゴミ箱じゃない！」と叫んでいるうちに、ごみを減らす活動をするしかないと考えようになりました。現在は脱プラスチック、ペットボトルのエコラベル化、新聞の袋利用など、一つ一つは小さな活動ですが未来に繋がると信じて活動しています。



SDGs活動特別賞

兵庫県立農業高等学校 鹿肉ドッグフード開発プロジェクト

鹿肉と廃棄農産物の有効利用～無添加ドッグフードの商品開発～

害獣として狩猟された鹿が産業廃棄物として処理され、また本校でも農産物が規格外となって処理されています。そこで、『もったいない』をなくすためにも、これらを活用した鹿肉ドッグフードを開発しました。犬の健康だけでなく『命をつなぐ』をテーマに食品ロス削減、SDGsに貢献することができました。



プレゼンター・審査委員



プレゼンター
水 洋
環境省
総合環境政策統括官



審査委員長
島岡 未来子
早稲田大学
リサーチイノベーションセンター
教授



審査委員
東岡 礼治
環境省 大臣官房
総合政策課 環境教育推進室長



審査委員
小辻 智之
独立行政法人環境再生保全機構
理事長



審査委員
竹本 明生
国連大学サステイナビリティ
高等研究所
プログラムヘッド



審査委員
東 武雄
読売新聞東京本社
教育ネットワーク事務局
事務局長



審査委員
猪野 正浩
株式会社 タニタ
ブランディング推進部

講評：審査委員長 島岡未来子氏

高校生ならではの真っ直ぐな問題意識、探求心、集中力や地域に対する愛情や想いを感じ、地域全体の活性化にみなさんが非常に重要な役割を果たしていることが伝わってきました。

フィードバックを受けたり、他の高校の発表を聞いたりして、いろんなことを感じられたかと思えます。ぜひ全てのものを糧にして、これからも環境活動や持続可能な社会の創造に向けて活動を続けていただきたいと思います。



日頃の活動内容！チームワーク！たくさんの素晴らしい発表がありました！

優秀賞 北海道士幌高等学校

環境班

持続可能な地域環境を目指して

～防風林に対する農家の経営意識改善を～

士幌町がある十勝地域は、日高おろしと呼ばれる突風が発生します。この被害を軽減しているのが防風林です。

しかし、自動操舵トラクタなどの発展により、衛星電波の障害になるなどの理由から防風林が伐採され減少しています。この課題を解決するためにハザードマップ作製や防風林調査、普及活動を実施しています。



優秀賞 北海道岩見沢農業高等学校

自然エネルギー班

地域の未利用資源を活用した北海道

周年栽培モデルの確立に向けた研究

地域の厄介者とされている「雪」と「もみがら」を活用し、豪雪地帯における周年栽培を実現させるために、私たち自然エネルギー班は活動を行っています。近年の高温対策としての「雪」利用と冬の暖房燃料を含む「もみがら」の循環利用など、再生可能エネルギーを活用した革新的・持続的な農業形態を実現します！



優秀賞 山形県立村山産業高等学校

農業科学部エンドファイト研究班

エンドファイトを活用して地域農業の環境負荷を減らす

私たちは、微生物「エンドファイト」について研究しています。山形県で多く生産されているソバと共生するエンドファイトを学校の演習林や畑地などから単離しようと試みています。

これまでに多数の菌株を単離しており、これら一つ一つがソバにどのような効果を示すのか、農業へ利用できるかを実験で明らかにしています。これにより化学肥料の使用量削減、河川・湖沼などの水質汚染防止につながると考えています。



優秀賞 長野県佐久平総合技術高等学校

チームさくさけ

咲け！エシカスフード～SAKE文化をリノベーション～

長野県佐久市は「酒の郷」。酒粕の需要が低迷し、一部が廃棄されているという課題を知り、パン屋、洋菓子店、ラーメン店の協力のもと、酒粕を使ったパンやクッキー、ラーメンを商品化。新たに酒粕の粉末化や学校給食を通じた食育活動などに取り組みました。地域を巻き込んだ活動により、地元食材を見直す動きが広がるなど、環境意識が高まっていることを実感しています。



優秀賞 奈良県立磯城野高等学校

Flowers&理科部

しきのSDGsプロジェクト

SDGsの目標に沿った活動を行っています。バタフライガーデンの設置と福祉交流花壇化では、最寄り駅の花壇で生物多様性をPRし、さらに地元のお年寄りに管理をお願いすることで健康増進に繋がっています。他にも、企業廃棄物（廃棄麻袋、廃棄酒粕、ミミズ糞土）の農園芸での利用、田んぼの生き物調べサポーター、奈良県絶滅危惧種・郷土種・外来種問題の研究も。



優秀賞 ノートルダム清心学園清心女子高等学校

ニホンリスを花めかせ隊

森のエビフライ専門店閉店の危機の訪れ！？岡山県の絶滅危惧種ニホンリスが生き続ける環境を作るために

ニホンリスは岡山県では絶滅危惧1類に指定されている。

私たちはどのような対策が個体数減少を止め、個体数増加に繋がっているかを研究した。アカマツの球果の食痕（エビフライ）やセンサーカメラで調査した結果、ニホンリスが好む球果の大きさや季節変動、活動が活発になる時期などがわかってきた。



優秀賞 山口県立周防大島高等学校

普通科環境コースアワサング班

「アワサング」保護で日本の未来を救う！～周防大島高校発地域循環共生圏（ローカルSDGs）づくり～

周防大島には日本最大規模の「ニホンアワサング」の群生地があります。

本校ではその保護と生態解明、山を含む生息地周辺の環境保全の活動、エコツアー開発やクラウドファンディング等を行っています。今後も島の美しい環境を次世代に引き継ぎ、住民も来島者も幸せになれる島を作っていくために、学校全体でSDGsの実現に取り組めます！



優秀賞 愛媛県立大洲農業高等学校

生産科学科 果樹班

地域資源「パショウ」から有機肥料を

～サステナブルな農業で2050年を目指す～

地域の文化的資源「パショウ」に多く含まれる無機成分に着目し、肥料効果の検証及び資源循環型の有機肥料の開発、生産者と消費者が連携した持続可能な農業の普及を目的に試験栽培を実施し、目に見える形で成果が表れています。大洲市からサステナブルな農業を全国へ発信します！



第9回 全国ユース環境活動発表大会 全国大会 初日イベント

全国大会の第1日目、全国ユース環境フォーラム研修会が開催されました。
今年のテーマは、『交流』です。主催あいさつと3名の講演の後、『交流イベント』を実施。
環境省次世代意見交換会メンバーと出場高校生の交流、高校生同士の交流があり、
とても楽しい時間を共有し大変盛り上がりました。

プログラム①

研修会 講演

国連大学サステナビリティ高等研究所



講師 プログラムヘッド 竹本 明生 氏

講演 地球環境へのユースの貢献

ユースとSDGs / ベーシック・ヒューマン・ニーズとは / 主要国の食料システムからの温室効果ガス排出量

環境省

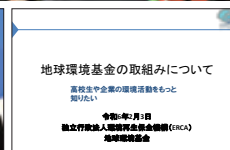


講師 環境教育推進室 菅沼 大輔 氏

講演 ネイチャーポジティブ実現に向けた環境省の取組状況

生物多様性とは / 日本における生物多様性の現状 / 30by30目標 / 各主体の役割

環境再生保全機構



講師 地球環境基金課 山口 悠介 氏

講演 地球環境基金の取組みについて

地球環境基金とは / 団体活動紹介 / NGOやNPOの環境活動を知りたい / 高校生や企業の環境活動をもっと知りたい

プログラム②

交流イベント 意見交換会

将来の社会、こうあってほしい！

全国大会に出場した16校の高校生がバラバラのテーブルに座り、ほかの高校の高校生と交流をしました。

それぞれのテーブルのファシリテータは、さまざまな分野で活躍するユース世代のメンバー13名。

高校生は、自分たちの環境活動やSDGs活動の経験をベースに、「将来の社会」について話し合いました。(写真は抜粋)

【会場の様子】



【ファシリテータ】 GEOCゆかりの交流イベントユーススタッフ



鈴木 良壽 さん
地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)



鈴木 さやか さん
フリーランス/「百姓」



古路 保友 さん
世界活動家/ゴミアーティスト



小林 海瑠 さん
緋熊と黒潮代表/九州大学4年生



和田 優希 さん
Climate Youth Japan/
奈良女子大学3年生



向山 遥温 さん
夢ノ森伴走者CUE代表/
環境活動ラッパー



石崎 彩花 さん
上智大学Green Sophia/
上智大学1年生



金城 初穂 さん
上智大学Green Sophia/
上智大学4年生



植田 亮 さん
FFF Tokyoオーガナイザー/
東京大学2年生



村上 采 さん
株式会社Ay代表取締役



池田 日陽 さん
環境口ドリガス25代幹事長/
早稲田大学3年生



岡田 若子 さん
TEMM23期生



吉田 羽那 さん
Carutena代表/明治大学3年生



遠藤 はな さん
上智大学Green Sophia/
上智大学1年生



● 交流イベント フォトアルバム (抜粋) ●



楽しかった!



第9回 全国ユース環境活動発表大会にご応募、ご参加をいただきありがとうございました。

全国大会出場 高校生の感想 (抜粋)

質問 今回の発表大会に参加して、また、他校の環境活動を実践している仲間との交流を通しての気づきや学び、参加して感じた自分の変化について教えてください。

- ◆色々な学校の活動内容を聞いて凄いとやるなと思ったし、自分も改めて環境を良くしたいし貢献したいと思いました! (栃木県立矢板高等学校)
- ◆自分の考えを深めることが出来ました。私自身、こんなに大きい大会というかそもそもSDGsに関わるのも高校に入ってからなのでいろんな経験が出来て良かったです。(奈良県立磯城野高等学校)
- ◆他の方々が先の先まで考えており、自分も2050年など先の目標を立てるようにしたい。(熊本県立南校高等学校)
- ◆以前から環境保護をしていかなければいけないことはわかっていましたが、具体的にどうしたらいいのかが分かりませんでした。様々な高校さんの活動を見て、災害時の動物の保護や絶滅しないためにはどうしたらいいの、廃棄物を活かすなど色んな方法があることを知ることが出来ました。(福井県立福井商業高等学校)
- ◆自分たちのやっている関連の環境問題しか興味がなく、他校がどんな環境問題に取り組んでいるかなどは考えたことがありませんでした。ですが今回の全国ユースで交流会を通してみんなのやっていることや、森や川などの環境問題についても考えることができ、とても自分の中で有意義な二日間になり視野も広がりました。(兵庫県立農業高等学校)
- ◆普通の高校生と違って、環境の話を持って話し合いができ、しっかり話を聞いてくれるという状態ができたのが良いと感じました。他の高校生の発想がすごかったです。相手に伝えるための話し方を学んだので、そこが変化できたと思います。(北海道岩見沢農業高等学校)
- ◆私は海のことばかりに目を向けていたけれどほかの学校は畜産であったり農業であったりいろんなことをして環境っていうのは全てを含めたものであることを実感しました。今後は海の状態を良くすることはもちろん良くすることでほかの産業にどのような影響が出るかを考えながら課題と向き合っていきたいです。(山口県立周防大島高等学校)

応援メッセージ

地方大会 高校生 応援メッセージ (各地方大会交流会より抜粋)

地方大会の情報はP9~P12に掲載

- ◆北海道標茶高等学校 → 全参加校へ
現代は環境問題の話が活発になり意識も高まってきている一方、環境、自然に重きを置きすぎるあまり、人間生活、人間社会をないがしろにしてしまいうる部分も危惧していた。けれども、こうやって両立に向けた案を出したり活動を若い世代からしていくのは、未来への貴重な希望とその実現に大切な一歩なので、この先もその意識を大切にしていきたいし、して欲しい。
- ◆岩手県立花巻農業高等学校 → 郡山女子大学附属高等学校へ
農業を専門としていない学校・学部にも関わらず、今回のようにコンポストに着目した内容を発表して本当にすごいと思いました。これからも色々なところに着目して研究を続けていってください。
- ◆オイスカ浜松国際高等学校 → 群馬県立尾瀬高等学校へ
種の多様性と環境の多様性、生態系保全活動の理解と地域への普及啓発活動の難しさは共感する点がとても多かった。身近な生態系から世界のことを考えるという「Think Globally, Act Locally.」の考え方が素晴らしいと思いました。これからも頑張ってください!
- ◆名城大学附属高等学校 → 岐阜県立加茂高等学校へ
花を染色に用いるという素敵な発想だけでなく、いくつかの色を作ろうとしているのがとても面白いなと思いました! なにより洗うことで色が落ちるとい、一見マイナスな点を何度も柄を変えられるというプラスな点にしているのが素晴らしいです。これからもっとカラーバリエーションができればもっともっと魅力が出るなと思います。頑張ってください!
- ◆兵庫県立和山高等学校 → 全参加校へ
全員発表がうまく、しっかり練習してきたのかなと思いました。地球や地域の中で、自分がどうすれば良いかを考えてすごいいいと思いました。これからも地球や地域のことを考え頑張ってください。
- ◆学校法人山口高川学園 高川学園高等学校 → 山陽学園高等学校へ
マイクロプラスチック、シビックテックなど、とても分かりやすく興味深い発表でした。オオサンショウウオの取り組みと違い、近隣の人達がアプリを使うことで、ゴミマップが作成されるという、色々な人の目に触れることができる取り組みであることが素晴らしいと思います。長期的な取り組みで町が大きく変化すると思います。これからも頑張ってください。
- ◆愛媛県立宇和島東高等学校 → 愛媛県立松山工業高等学校へ
是非、自分の高校でも出前授業をやってほしい。防災体験楽しかったです!一緒に防災に関して話し合いたいです。
- ◆長崎県立対馬高等学校 → 大分県立大分工業高等学校へ
自分たちで課題解決のために考えて、実行に移すという行動力がすごいと思いました。また、自らで考えた結果、イカダ型水車という発想から、改善点などを見つけ作り上げていくという過程が素晴らしいと感じました。環境について考え、エネルギーも自然から発生するものを利用するといった点が地球のことを考えていると感じました。

応援メッセージ

協賛企業 応援メッセージ 協賛企業 >>> 高校生のみなさんへ

ローカルからはじめよう

高校生たちのローカルな環境課題への取り組みは重要です。科学的な課題把握と定量的な分析、仮定を設定して取り組まれるレベルの高い活動に目を見張ります。素晴らしい取り組みとその活動を後輩たちへ引き継がれることを応援し続けます。

新しい発想 未来に繋がる

目標を持って仲間と意見交換を重ねながら、地域や社会の課題解決に取り組まれていることに感銘を受けました。皆さんの活動は素晴らしい未来に繋がっています。これからも全国の仲間と絆を深め頑張ってください。応援しています。

熱意ある取組 未来への躍進

皆さんの環境活動の内容が進化していますね。問題や課題の抽出と分析力、解決力、地域産業や行政を巻き込んだ協働にも目を見張るものがあります。皆さんの環境活動が一層発展することを期待し、当社は引き続き応援してまいります。

熱心な活動 大きな流れに

地球環境問題への取り組みは待ったなしです。混沌を増す社会情勢下にもかかわらず、皆さんの熱心な活動には頭が下がります。こうした取り組みがますます大きなウェーブになります。未来を創るのは皆さんです。がんばれ高校生。



キリンホールディングス株式会社



協栄産業株式会社



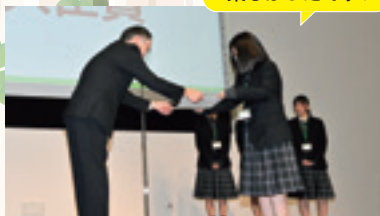
SGホールディングス株式会社



株式会社タニタ

栃木県立矢板高等学校

楽しかったです!



熊本県立熊本農業高等学校

仲間と繋がった!



青森県立名久井農業高等学校

有意義でした!





大会の経験、人のつながり生かして活躍を

読売新聞教育ネットワーク記者 伊藤 彰浩

北海道から沖縄まで、微生物から工業製品まで、農産物の産地から都市部での商品開発まで――。みなさんの活動を紹介する「読売SDGs新聞」特別号の編集に携わり、全出場校から出されたパワーポイントを拝見しました。環境を守ろうという動きの広がりや文章と写真からよく伝わってきました。

環境大臣賞を受賞した栃木県立矢板高校、農業経営科農業技術研究部畜産班の取り組みでは、輸入飼料に頼らない放牧牛の飼育から始まり、流通や販売まで視野に入れた、地域の方々と一体となった努力が印象に残りました。

また、読売新聞社賞を受賞した愛媛県立長浜高校でのブリの中落ちを利用した缶詰づくりでは、地元の特産物を活用して、栄養豊富でおいしい食品作りにつなげるという地に足のついた取り組みに力強さを感じました。

ほかにも、環境再生保全機構理事長賞、熊本県立熊本農業高校での養豚に関わるゼロエミッションへの取り組み、国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞、青森県立名久井農業高校での節水型の水耕栽培など、学校での学習をさらに発展させたレベルの高い発表もありました。すべての応募作に触れてみると、高校生の環境への取り組みの幅広さと奥の深さが実感できました。

今回の大会では、関東地方大会の審査に参加しました。しっかり準備されたプレゼンテーションのレベルの高さに目を見張りましたが、なによりも印象深かったのは高校生のみなさんが、発表や表彰の後に隣のテーブルに声をかけ、別のチームと交流している姿でした。人と人とのつながり、これが大きな力になり、活動の礎になるのは間違いないことと思います。

活動に参加されたみなさんは、今後、学校を卒業し、家業を継いだり、企業や政府、自治体で働いたり、大学や専門学校へ進学したりさまざまな道を歩むことでしょう。活躍の舞台はさらに大きくなります。

広い視野から環境を考えるために、2023（令和5）年版の「環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」をみてみます。そこには、「気候変動と生物多様性の現状と国際的な動向」として、人間社会が発展できる活動の限界である「地球環境の限界（プラネタリーバウンダリー）」といった考え方、企業と自然に関する情報開示の枠組みである「自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)」といった仕組みなどが示されています。



環境は地球全体、わたしたちの生活のすべてに関わる問題です。脱炭素化や再生可能エネルギーの導入などを地域で行いながら、地球規模でも環境を考えてみる、経済や社会の仕組みの中でも環境を考えるとといった多角的、多層的な取り組みが必要です。

大会に参加したみなさんはこれまで、成果を後輩に伝え、地域に広げる活動に携わってきました。この経験や人のつながりを基にし、さらなる活躍を期待します。

大会に参加したみなさんはこれまで、成果を後輩に伝え、地域に広げる活動に携わってきました。この経験や人のつながりを基にし、さらなる活躍を期待します。

読売新聞社では、朝刊全国版で「SDGs@スクール」という学校での取り組みを紹介するコーナーをもうけているほか、「2030 SDGsチャレンジ」というタイトルで学校の取り組みを応援しています。また、身近な取り組みをまとめた「読売SDGs新聞」（タブロイド判）などの教材を発行し、子どもたちの実践をサポートしています。

取り組みを全国に知らせたいという学校・団体があれば、ぜひ情報をお寄せください。



第9回 全国ユース環境活動発表大会

高校生は
元気！

2023年12月、全国8地方で、「第9回 全国ユース環境活動発表大会 地方大会」が開催されました。全国から合計93団体が出場。高校生は、元気いっぱいに日頃の活動を発表しました。



北海道地方大会 記念写真



東北地方大会 記念写真

北海道地方大会

- 日時：2023年12月3日(日)
- 会場：TKPガーデンシティPREMIUM札幌大通



地方大会最優秀賞
北海道士幌高等学校



地方大会最優秀賞
高校生が選ぶ特別賞
審査委員特別賞
先生が選ぶ特別賞
協賛企業特別賞
SDGs活動特別賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞

北海道士幌高等学校
 北海道岩見沢農業高等学校
 北海道標茶高等学校
 北海道美幌高等学校
 北海道大野農業高等学校
 北海道大野農業高等学校
 北海道羽幌高等学校
 北海道北見北斗高等学校
 札幌開成中等教育学校
 北海道函館水産高等学校

環境班
 自然エネルギー班
 課題探究環境ゼミインタープリターズ班
 環境改善班
 畑作班
 果樹専攻班
 北海道羽幌高等学校
 サイエンスクラブ
 世界を救うコンクリート
 海洋技術科3年課題研究2班



高校生が選ぶ特別賞
北海道岩見沢農業高等学校



審査委員特別賞
北海道標茶高等学校



先生が選ぶ特別賞
北海道美幌高等学校



協賛企業特別賞
北海道大野農業高等学校



SDGs活動特別賞
北海道大野農業高等学校



◆北海道地方大会 交流会◆

東北地方大会

- 日時：2023年12月10日(日)
- 会場：TKPガーデンシティ仙台



地方大会最優秀賞
青森県立久井農業高等学校



地方大会最優秀賞
高校生が選ぶ特別賞
審査委員特別賞
先生が選ぶ特別賞
協賛企業特別賞
SDGs活動特別賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞

青森県立久井農業高等学校
 山形県立村山産業高等学校
 青森県立三本木農業恵拓高等学校
 秋田県立大曲農業高等学校
 宮城県南三陸高等学校
 秋田県立新屋高等学校
 青森県立柏木農業高等学校
 岩手県立花巻農業高等学校
 岩手県立久慈東高等学校
 秋田県立大館鳳鳴高等学校
 宮城県宮城第一高等学校
 仙台高等専門学校 名取キャンパス
 郡山女子大学附属高等学校

FLORA HUNTERS
 農業科学部エンドファイト研究班
 COW飼う'S
 果樹部
 自然科学部
 理科研究部
 生物生産科野菜班
 洋菓子研究班
 森林生態科目群
 化学部
 生物部
 マテ環2年女子
 特別進学クラスBlue sky



高校生が選ぶ特別賞
山形県立村山産業高等学校



審査委員特別賞
青森県立三本木農業恵拓高等学校



先生が選ぶ特別賞
秋田県立大曲農業高等学校



協賛企業特別賞
宮城県南三陸高等学校



SDGs活動特別賞
秋田県立新屋高等学校



◆東北地方大会 交流会◆

地方大会 (北海道地方大会、東北地方大会) 関東地方大会、中部地方大会



発表と交流!

第9回大会のテーマは、「発表と交流」。
出場した全高校が発表した後に、会場内の座席をシャッフル。
ほかの高校の出場者と、環境やSDGs、活動内容について大いに意見交換をしました。



関東地方大会 記念写真



中部地方大会 記念写真

関東地方大会

- 日時：2023年12月17日(日)
- 会場：TKPガーデンシティPREMIUM秋葉原



地方大会最優秀賞
栃木県立矢板高等学校

- 地方大会最優秀賞**
高校生が選ぶ特別賞
審査委員特別賞
先生が選ぶ特別賞
協賛企業特別賞
SDGs活動特別賞
- 優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞

- 栃木県立矢板高等学校
玉川学園高等部
千葉県立安房高等学校
オイスカ浜松国際高等学校
群馬県立尾瀬高等学校
静岡県立駿河総合高等学校
茨城県立緑岡高等学校
栃木県立真岡北陵高等学校
群馬県立藤岡北高等学校
東京都立国分寺高等学校
郁文館グローバル高等学校
晃華学園中学校高等学校
富士宮高校会議所

- 農業技術部畜産班
玉川学園サンゴ研究部
チームあわわ
環境SDGsプロジェクト
尾瀬高校理科部
有志団体US
生物部
食品科学研究部
環境工学部
ぶんじカレプロジェクト
まちづくりゼミ
SDGsポップアップストア
富士宮高校会議所



高校生が選ぶ特別賞
玉川学園高等部



審査委員特別賞
千葉県立安房高等学校



先生が選ぶ特別賞
オイスカ浜松国際高等学校



協賛企業特別賞
群馬県立尾瀬高等学校



SDGs活動特別賞
静岡県立駿河総合高等学校



◆関東地方大会 交流会◆

中部地方大会

- 日時：2023年12月10日(日)
- 会場：TKPガーデンシティ名古屋



地方大会最優秀賞
長野県佐久平総合技術高等学校

- 地方大会最優秀賞**
高校生が選ぶ特別賞
審査委員特別賞
先生が選ぶ特別賞
協賛企業特別賞
SDGs活動特別賞
- 優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞

- 長野県佐久平総合技術高等学校
福井県立福井商業高等学校
富山県立滑川高等学校
福井県立大野高等学校
石川県立津幡高等学校
愛知県立安城農林高等学校
岐阜県立加茂高等学校
愛知県立佐屋高等学校
名城大学附属高等学校
名城大学附属高等学校
名城大学附属高等学校
愛知県立南陽高等学校
名城大学附属高等学校

- チームさくさけ
JRC部とそのなかまたち
海洋クラブ
JRC「結」
農蚕部
土壌研究研修班
自然科学部
科学部
自然科学部 数理研究班
自然科学部 骨班
自然科学部 天文班
Nanyo Company部
自然科学部 飼育班



高校生が選ぶ特別賞
福井県立福井商業高等学校



審査委員特別賞
富山県立滑川高等学校



先生が選ぶ特別賞
福井県立大野高等学校



協賛企業特別賞
石川県立津幡高等学校



SDGs活動特別賞
愛知県立安城農林高等学校



◆中部地方大会 交流会◆

第9回 全国ユース環境活動発表大会

全地方大会
共通

主催：全国ユース環境活動発表大会実行委員会（環境省／独立行政法人環境再生保全機構／国連大学サ
後援：読売新聞社 協力：地方環境パートナーシップオフィス（EPO）、地球環境パートナーシッ
協賛：キリンホールディングス株式会社、協栄産業株式会社、SGホールディングス株式会社、株式会社



近畿地方大会 記念写真



中国地方大会 記念写真

近畿地方大会

- 日時：2023年12月17日（日）
- 会場：TKPガーデンシティPREMIUM大阪駅前



地方大会最優秀賞
奈良県立磯城野高等学校

- 👑 地方大会最優秀賞
高校生が選ぶ特別賞
審査委員特別賞
先生が選ぶ特別賞
協賛企業特別賞
SDGs活動特別賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞

- 奈良県立磯城野高等学校
兵庫県立農業高等学校
兵庫県立和田山高等学校
京都府立宮津天橋高等学校
大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程
大阪府立水都国際高等学校
大阪府立長尾高等学校
高校生エシカル推進委員会
兵庫県立篠山東雲高等学校
兵庫県立播磨農業高等学校
兵庫県立兵庫工業高等学校
和歌山県立向陽高等学校

- Flowers&理科部
鹿肉ドッグフード開発プロジェクト
わこうさつま藩
フィールド探究部
1.5度の約束
地球愛好会
理科研究部 河川水質チーム
高校生エシカル推進委員会
自然科学部
オオヤマジン班
総理プライド
Sea-friendly



高校生が選ぶ特別賞
兵庫県立農業高等学校



審査委員特別賞
兵庫県立和田山高等学校



先生が選ぶ特別賞
京都府立宮津天橋高等学校



協賛企業特別賞
大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程



SDGs活動特別賞
大阪府立水都国際高等学校



◆近畿地方大会 交流会◆

中国地方大会

- 日時：2023年12月23日（土）
- 会場：TKPガーデンシティ広島駅前大橋



地方大会最優秀賞
山口県立周防大島高等学校

- 👑 地方大会最優秀賞
高校生が選ぶ特別賞
審査委員特別賞
先生が選ぶ特別賞
協賛企業特別賞
SDGs活動特別賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞
優秀賞

- 山口県立周防大島高等学校
ノートルダム清心学園清心女子高等学校
山陽学園高等学校
広島県立大門高等学校
岡山県立東岡山工業高等学校
岡山県立水島工業高等学校
岡山県立玉野高等学校
岡山県立岡山一宮高等学校
ノートルダム清心学園清心女子高等学校
岡山県立笠岡高等学校
山口県立下関西高等学校
学校法人山口高川学園 高川学園高等学校

- 普通科環境コースアワサング班
ニホンリスを花めかせ隊
地歴部
理科部 アサギマダラ親衛隊
工業化学科
工業化学科 海ごみゼロ
玉野高校プラズマ利用研究チーム
岡山一宮高校ユネスコ部
竹の魅力発見隊
サイエンス部
家庭班
オオサンショウウオ班



高校生が選ぶ特別賞
ノートルダム清心学園清心女子高等学校



審査委員特別賞
山陽学園高等学校



先生が選ぶ特別賞
広島県立大門高等学校



協賛企業特別賞
岡山県立東岡山工業高等学校



SDGs活動特別賞
岡山県立水島工業高等学校



◆中国地方大会 交流会◆

地方大会 (近畿地方大会、中国地方大会、四国地方大会、九州・沖縄地方大会)



ステイナビリティ高等研究所
 プラザ (GEOC)、ESD活動支援センター
 タニタ



四国地方大会 記念写真



九州・沖縄地方大会 記念写真

四国地方大会

- 日時：2023年12月23日 (土)
- 会場：レクザムホール (香川県県民ホール)



地方大会最優秀賞
 愛媛県立大洲農業高等学校

- 地方大会最優秀賞**
 高校生が選ぶ特別賞
 審査委員特別賞
 先生が選ぶ特別賞
 協賛企業特別賞
 SDGs活動特別賞
 優秀賞

- 愛媛県立大洲農業高等学校
 愛媛県立長浜高等学校
 愛媛県立宇和島東高等学校
 愛媛県立松山工業高等学校
 徳島県立阿南光高等学校
 大手前丸亀高等学校
 愛媛県立新居浜工業高等学校

- 生産科学科 果樹班
 水族館部「あらぶるぶりのあらぼね救助隊」
 宇東 水質浄化班
 チーム Save Our Future
 緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトTEAMバイオマス工房・あらい
 広報委員会
 環境化学科



高校生が選ぶ特別賞
 愛媛県立長浜高等学校



審査委員特別賞
 愛媛県立宇和島東高等学校



先生が選ぶ特別賞
 愛媛県立松山工業高等学校



協賛企業特別賞
 徳島県立阿南光高等学校



SDGs活動特別賞
 大手前丸亀高等学校



◆四国地方大会 交流会◆

九州・沖縄地方大会

- 日時：2023年12月3日 (日)
- 会場：TKPガーデンシティ博多



地方大会最優秀賞
 熊本県立南稜高等学校

- 地方大会最優秀賞**
 高校生が選ぶ特別賞
 審査委員特別賞
 先生が選ぶ特別賞
 協賛企業特別賞
 SDGs活動特別賞
 優秀賞
 優秀賞
 優秀賞
 優秀賞
 優秀賞
 優秀賞

- 熊本県立南稜高等学校
 熊本県立熊本農業高等学校
 長崎県立諫早農業高等学校
 長崎県立諫早農業高等学校
 鹿児島県立市来農芸高等学校
 東筑紫学園高等学校
 中村学園三陽高等学校
 博多女子高等学校
 福岡工業大学附属城東高等学校
 大分県立大分工業高等学校
 長崎県立対馬高等学校
 長崎県立五島高等学校
 沖縄県立北部農林高等学校

- 総合農業科環境コース林業専攻
 養豚プロジェクト
 食品科学部
 諫農バイオ園芸科
 クリケッターズ
 夜空の明るさ研究チーム
 保健委員会
 地域共創部
 科学部
 DAIKO水車プロジェクトチーム
 ユネスコスクール部
 五島高校 情報科学部 かなだも〜ず
 エコ部



高校生が選ぶ特別賞
 熊本県立熊本農業高等学校



審査委員特別賞
 長崎県立諫早農業高等学校



先生が選ぶ特別賞
 長崎県立諫早農業高等学校



協賛企業特別賞
 鹿児島県立市来農芸高等学校



SDGs活動特別賞
 東筑紫学園高等学校



◆九州・沖縄地方大会 交流会◆

第9回 全国ユース環境活動発表大会

2023年度 全国の高校生の環境活動・SDGs活動

今年も全国の高校生が熱心に環境活動やSDGs活動に取り組みました。
 「第9回 全国ユース環境活動発表大会」にご応募いただいた高校・団体をご紹介します。

高校生の活動	気候変動	脱炭素	生物多様性	循環型社会	環境教育
	SDGs	ゴミ問題	食品ロス	プラスチック	など様々・・・

都道府県について

本大会は、環境省地方環境事務所の所管する都道府県別に区分しています。

北海道 10 団体

北海道標茶高等学校

インタープリターズ班

届け!道東の魅力!
～人と自然をつなぐために～

北海道美幌高等学校

環境改善班

オホーツクの自然を守れ!
～オホーツクから世界へ繋ぐ環境改善～

北海道士幌高等学校

環境班

持続可能な地域環境を目指して
～防風林に対する農家の経営意識改善を～

北海道大野農業高等学校

果樹専攻班

持続可能な果樹生産を目指して
～私たちにできる脱炭素～

北海道羽幌高等学校

羽幌高校チーム

羽幌町に飛来する海鳥について

北海道岩見沢農業高等学校

自然エネルギー班

地域の未利用資源を活用した北海道周年栽培モデルの確立
～北の雪からプロジェクト～

北海道大野農業高等学校

畑作班

サツマイモ栽培プロジェクト

北海道北見北斗高等学校

サイエンスクラブ

～地域に根差した環境活動で北見をより住みよい街へ～
サイエンスクラブ

市立札幌開成中等教育学校

世界を救うコンクリートチーム

ホッキガイを用いたコンクリートの作成
及び利用方法

北海道函館水産高等学校

海洋技術科3年課題研究2班

マガキの種苗生産技術の検討

東北 19 団体

青森県立名久井農業高等学校

FLORA HUNTERS

水がなくなる前に
～超節水栽培の開発～

青森県立むつ工業高等学校

地中熱融雪研究班

R5 課題研究 地中熱利用による融雪研究と地中熱の可能性について

青森県立三本木農業恵拓高等学校

チーム・COW飼うS

高オレイン酸ヒマワリ種子飼料化プロジェクト

青森県立木造高等学校

総合的な探究の時間「環境保全プロジェクトチーム」

つがる市の豊かな自然を守る
～ガシャモク保全活動2022-23～

青森県立柏木農業高等学校

生物生産科野菜班

津軽ホクホク物語
～カボチャの産地化と持続可能な農村地域を目指して～

岩手県立花巻農業高等学校

洋菓子研究班

未来の食卓に彩りと笑顔を!
～花巻産ゴールドベリーの普及を目指して～

岩手県立久慈東高等学校

総合学科 環境緑化系列 森林生態科目群

日本一の「白樺美林」再生プロジェクト
～白樺資源の活用に関する研究～

秋田県立新屋高等学校

理科研究部

～在来種保全と外来種の有効活用～

秋田県立大曲農業高等学校

果樹部

シン・田沢湖ウォーター10ℓの奇跡

秋田県立大館鳳鳴高等学校

化学部

里山の再生を願って
～秋田白炭と樹木抽出成分の利用～

宮城県南三陸高等学校

自然科学部

松原海岸の生物調査

宮城県宮城第一高等学校

生物部

ヤドカリ腸内のマイクロプラスチックとクモ糸から環境保全を考える

宮城県古川黎明高等学校

地熱班

地熱発電の実地調査と普及へ向けた効果的な発電方法の研究

仙台高等専門学校 名取キャンパス

マテ環2年女子チーム

デンポン+α=代替プラスチック!?



鶴岡工業高等専門学校

環境まもり隊 鶴岡高専支部
環境に優しい紙おむつを目指して

山形県立米沢興譲館高等学校

Core.Super.Science club
1. 山形県置賜地方におけるモツゴとシナイモツゴの生息域調査と保全/2. トフコクサンショウウオのプライマーの有用性調査/3. 透明骨格標本の透明化プロセスにおける薬品及び作製方法の改良について

山形県立村山産業高等学校

農業科学部 エンドファイト研究班
エンドファイトを活用して
地域農業の環境負荷を減らす

郡山女子大学附属高等学校

特別進学クラス(研究部) Blue sky
Compost is love
～段ボールコンポストを普及するために～

郡山女子大学附属高等学校

特別進学クラス(研究部) SHINE
STEP UP
～より良い未来へ、ロボットを用いた地産地消を通して～

関東

13 団体

茨城県立緑岡高等学校

生物部
リサイクル資材で軽量土壌を作る

栃木県立矢板高等学校

農業経営科 農業技術研究部 畜産班
未来へつなげる放牧牛
～ビーフダイバーシティと避難放牧～

栃木県立真岡北陵高等学校

食品科学研究部
Brilliant foodstuff
～地元食材に光を当てて～

群馬県立尾瀬高等学校

尾瀬高校理科部
地域の自然を調べて伝える
～地域の生物多様性保全のために～

群馬県立藤岡北高等学校

環境工学部
小川の未来を考える

千葉県立安房高等学校

チームあわわ
アマモ復活への挑戦II
～結成!チームあわわ～

玉川学園高等部

玉川学園サング研究部 移植班/研究班/広報班
私たちの手でサングを海へ!
～サング移植プロジェクト～

東京都立国分寺高等学校

ぶんじカレープロジェクト
環境問題とフードロスカレーで解決!

郁文館グローバル高等学校

まちづくりゼミ
都市部と中山間地域を繋ぐ
～新しい関係づくりを通して～

晃華学園中学校高等学校

SDGsポップアップストア
SDGsポップアップストア
～高校生の活動のコラボレーション～

富士宮高校会議所

SDGs実践「マスマス元肥(げんぴ)」を使って、
富士宮をマスマス元気!!!
～SDGs実践活動を小学生と地域の方々とコラボして行い、持続可能な社会を目指す～

静岡県立駿河総合高等学校

有志団体US
有志活動で地域貢献

オイスカ浜松国際高等学校

環境SDGsプロジェクトチーム
地域参画型Eco-DRR
高校生スポーツビーチクリーン実行委員会

中部

13 団体

富山県立滑川高等学校

海洋クラブ
マイワシ余ってるって、マ?
～地域とつながり、廃棄を救え! With子ども食堂～

石川県立津幡高等学校

農蚕部
津幡高校アクアポニックス
～持続可能な循環型システムを目指して～

福井県立大野高等学校

JRC [結]
地域の宝を未来へつなぐ
～水・繊維・「すこスコーン」～

福井県立福井商業高等学校

JRC部とその仲間たち
海岸清掃とごみ調査に嫌気がして
脱プラ・水の活動始めました

長野県佐久平総合技術高等学校

チームさくさけ
咲け!エシカスフード
～SAKE文化をリノベーション～

岐阜県立加茂高等学校

自然科学部
「オオキンケイギク」を用いた草木染
環境教育に活用することを目指して

愛知県立佐屋高等学校

科学部
持続可能な農スタイル

愛知県立安城農林高等学校

土壌研究研修班
フードロス低減の活動を通じて、地域社会におけるSDGsの達成に寄与しました

名城大学附属高等学校

自然科学部 数理研究班
川の健康をまもり隊!

名城大学附属高等学校

自然科学部 骨班
骨奉行

名城大学附属高等学校

自然科学部 天文班
酸性雨の発生と今後について

愛知県立南陽高等学校

Nanyo Company部
規格外野菜の有効活用
～野菜も多様なんだYO!～

名城大学附属高等学校

自然科学部 飼育班
庄内川の生態調査



第9回 全国ユース環境活動発表大会

掲載高校の活動は、PDFとYouTubeで見ることができます。
大会ホームページで、ほかの高校の活動をぜひご覧ください。
(一部高校を除く)

第9回全国ユース環境活動発表大会

検索



各地方大会の高校別データ

近畿

12 団体

大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程

エコプロジェクトチーム

空の脱炭素・陸の脱炭素プロジェクト

兵庫県立篠山東雲高等学校

自然科学部

生き物観察会の取り組み
～丹波篠山市の水辺の生き物～

兵庫県立農業高等学校

鹿肉ドッグフード開発プロジェクト

鹿肉と廃棄農産物の有効利用
～無添加ドッグフードの商品開発～

和歌山県立向陽高等学校

Sea-friendly

酵素を使って
海に優しいカゼインプラスチックをつくる!

岡山県立東岡山工業高等学校

工業化学科チーム

工業高校生が挑戦する養殖プロジェクト
～循環型農法“アクアポニクス”に挑戦～

山陽学園高等学校

地歴部

『市民は解決者!』シビック・テックを活用した
海洋ごみ問題解決への挑戦

ノートルダム清心学園 清心女子高等学校

竹の魅力発見隊

竹の可能性を探る

広島県立大門高等学校

理科部 アサギマダラ親衛隊

大門高校周辺のチョウ相における多様性復元効果の検証
～バタフライガーデンづくりを通して～

山口県立下関西高等学校

こんぼすたーず

身近な細菌を用いた生ごみの
効率的な分解に関する研究

京都府立宮津天橋高等学校

フィールド探究部

大手川成長日記
～川で育ち、川を育て、未来へ～

大阪府立長尾高等学校

理科研究部 河川水質チーム

なぜ、川の水が塩基性になるのか?

兵庫県立和田山高等学校

わこう さつま藩

いも、多様性。
～SDGs17を網羅～

兵庫県立兵庫工業高等学校

総理プライド チーム

SDGsと化学
～コンポストと植物性吸水性ポリマー～

大阪府立水都国際高等学校

地球愛好会

5-Reから始まる青い地球

高校生エシカル推進委員会

高校生エシカル推進委員会

わからない私たちが伝える環境問題

兵庫県立播磨農業高等学校

オオヤマジソ班

持続可能なオオヤマジソの保護に向けて
～後輩に向けた栽培暦の作成～

奈良県立磯城野高等学校

Flowers&理科部

しきのSDGs プロジェクト

中国

19 団体

岡山県立玉野高等学校

玉野高校プラズマ利用研究チーム

低温プラズマを照射した
ポリグルタミン酸による水質浄化能力の変化

岡山県立岡山一宮高等学校

岡山一宮高校ユネスコ部

フェアトレードを広げるためには

岡山県立水島工業高等学校

工業化学科 海ごみゼロチーム

「海ごみゼロ」に向けた
海洋プラスチックごみに対する研究

ノートルダム清心学園 清心女子高等学校

ニホンリスを花めかせ隊

森のエビフライ専門店閉店の危機の訪れ!?岡山県の
絶滅危惧種ニホンリスが生き続ける環境を作るために

#おかやまJknote

#おかやまJknote

奉還町商店街「ユース食堂」プロジェクト

岡山県立笠岡高等学校

サイエンス部

カブトガニの生態を調査する!
～調査範囲拡大と効率化に向けての取り組み～

広島県立祇園北高等学校

科学研究部

本校がモリアオガエルの
保護区になることを目指して

山口県立下関西高等学校

ペーパーこんぼすたーず

紙の分解におけるゴミの削減と資源循環

山口県立下関西高等学校

家庭科班

二酸化炭素を吸収する布をつくる

山口県立下関西高等学校

化学2班

プラスチックを有効活用するために

山口県立下関西高等学校

シリカゲラース

シリカゲルB型の溶媒の吸着による温度上昇



山口県立下関西高等学校

ミドリムシ研究チーム
ユーグレナのパラミロン含有量と
環境との関係性

学校法人山口高川学園 高川学園高等学校

オオサンショウウオ班
高川学園8年間の集大成!
～前人未踏のミッション成功!!～

山口県立周防大島高等学校

普通科環境コース アワサング班
高校生力を活かした持続可能な環境づくり!
～クラブファンディングやエコツアーの実施と地域連携のプラットフォームづくり～

四国

7団体

愛媛県立大洲農業高等学校

生産科学科 果樹班
地域資源「パショウ」から有機肥料を
～サステナブルな農業で2050年を目指す～

愛媛県立新居浜工業高等学校

環境化学科チーム
地域の問題解決プロジェクト ソーシャルチャレンジfor High school事業
[生き物から環境を考えるプログラムの作成と環境問題啓発活動]

愛媛県立松山工業高等学校

チーム Save Our Future
地域防災×SDGs
みんなで守る地域の未来プロジェクト

愛媛県立長浜高等学校

水族館部「あらぶるぶりのあらぼね救助隊」
魚の中落ち活用でフードロスを削減!
缶詰「ブリの骨じゃん」の開発

愛媛県立宇和島東高等学校

宇東 水質浄化班
「きれいな水」は世界の合言葉!
～地域の廃棄物を用いた発展途上国のための水質浄化装置～

九州・沖縄

19団体

東筑紫学園高等学校

夜空の明るさ研究チーム
北九州市の夜空の明るさ
～10年前と比較して～

福岡工業大学附属城東高等学校

生徒会環境部
Jyoto clean up
～城東からキレイに～

中村学園三陽高等学校

保健委員会
次世代に繋ぐ環境保全活動

博多女子高等学校

地域共創部
廃棄物が地域を救う
～地域循環型社会への道のり～

福岡県立玄洋高等学校

玄洋高等学校SDGsクラブ
地域の環境保全と地域交流

福岡工業大学附属城東高等学校

科学部
博多湾での活動
～水環境を通じた人とのつながり～

大分県立大分工業高等学校

DAIKO水車プロジェクトチーム
水車で、通学路の夜道を照らす取り組み
～水車で特許取得!脱炭素のため無償公開!～

佐賀県立唐津南高等学校

サフランプロジェクトチーム
救え!
上場のサフラン生産量向上を目指して

熊本県立水俣高等学校

みなまたオイスタープロジェクトチーム
水俣で牡蠣の最適養殖地を見つけよう!

熊本県立南陵高等学校

総合農業科環境コース林業専攻
復興!「がんばろう!人吉・球磨」
～地域資源を活用した木育活動で癒や、元気と笑顔と活性化の輪～

熊本県立熊本農業高等学校

養豚プロジェクト
養豚業のゼロエミッション
#産業廃棄物に輝きを

熊本県立宇土中学校・宇土高等学校

SSターンオーバー研究班
ターンオーバー現象が環境に及ぼす影響

長崎県立諫早農業高等学校

食品科学部
「もったいない」から始まる地域活性
～規格外からブランドへ～

長崎県立諫早農業高等学校

諫農バイオ園芸科
厄介者で地域の環境改善
～放置竹林の農業活用をめざして～

長崎県立対馬高等学校

ユネスコスクール部
「国境の島・対馬」における環境保全活動

長崎県立五島高等学校

五島高校 情報科学部 かなだも～ず
五島高校を取り巻く水環境の調査に
基づいた環境保全策に関する提案

鹿児島県立市来農芸高等学校

クリケッターズ
家畜昆虫コオロギで環境と経済にエコ

大会ホームページをご覧ください

ほかの高校の活動をPDFと
YouTubeで見ることができます。
(一部高校を除く)

第9回全国ユース環境活動発表大会

各地方大会の高校別データ

鹿児島県立霧島高等学校

ESD研究班
「浮かぶボール」の工作体験提供
～次世代がともに取り組む創造力を～

沖縄県立北部農林高等学校

エコ部
美ら島地域応援プロジェクト
未来へつなぐゆいまるの木





キリングループ

長野県東御清翔高等学校
長野県岩村田高等学校



研修後の記念写真

キリングループが取り組む生物多様性の保全を学ぶ!

2023年8月26日(土)、長野県東御清翔高等学校と長野県岩村田高等学校の2校の生徒が高校生企業環境研修に参加。キリングループのシャトー・メルシャン 梶子(まりこ)ヴィンヤード(上田市)を訪問し、企業の生物多様性保全の取組を学びました。

キリングループ メルシャン・梶子ヴィンヤード

キリングループのシャトー・メルシャン 梶子(まりこ)ヴィンヤード(長野県上田市)。東京ドーム約6個分の広大なブドウ畑で、自社管理により多様な生きものが生まれ、生物多様性の保全に貢献しています。

梶子ヴィンヤードでは希少種を含む多数の植物や昆虫が見つかっています。2014年から始めた農研機構との共同研究で、垣根式の草生栽培が広大な草原を創出、維持していることが解明されています。2016年からは従業員参加で希少種・在来種の再生活動を開始。秋に、ブドウ畑の中の生態系が豊かな場所の枯れ草を刈り取り、再生場所に撒くことで、1㎡の平均出現種数が倍になるなど植生の回復を実現させています。

また、梶子ヴィンヤードは、生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)で採択された新しい世界目標「30by30」の達成に向けた環境省の自然共生サイトに申請し、2023年10月6日に、農産物を生産する唯一の事例として正式認定を受けました。



— 研修内容 — キリングループが取り組む生物多様性の保全を学ぶ!

高校生研修 絶滅危惧種 オオルリシジミの食草 ～クララの観察～

研修では、講師であるキリンホールディングスの藤原さん、農研機構・西日本農業研究センターの楠本さんから説明を受けながら、実際に植生回復を行っているフィールドを訪問。絶滅危惧種オオルリシジミの食草であるクララが植生再生活動で増えている様子を確認しました。研修中は高校生から講師へ積極的に質問する姿が見られ、身近な自然や生物多様性について、あらためて考える大変貴重な機会となりました。



研修の様子



講師 藤原啓一郎さん 講師 楠本良延さん



梶子ヴィンヤードのクララ

— 研修を終えて — 高校生の感想 (抜粋)



長野県岩村田高等学校 荻原直杜さん
今回の研修で、生物の多様性を守るための活動について知ることができました。

最初は2m近い高さの雑草が生えた荒地が今では国内にわずかしかない草原を伴うブドウ畑に変わったことを知り、とても驚きました。また、様々な希少生物を保護する取り組みを行っているという話を聞き、こういった活動があることを多くの人に知ってもらおうことが必要だと感じました。



長野県東御清翔高等学校 平岡春佳さん
環境を守りながら産業を発展させることは、私はずっと困難だと思っていました。

しかし今回の研修で、工夫次第で、自然を守りながらワイン産業を発展させていくことができる、ということを知ることができました。簡単なことではないですが、企業や個人が「環境を守る」という意志を持ち、様々な取り組みをしながら過ごしていくことが未来を守るために大切だと思いました。



長野県東御清翔高等学校 三木咲良さん
ワインの生産だけでなく、ブドウの栽培をとおして様々な生物や植物を守り、産業と生物多様性が両立

されているのがすごいなと思いました。梶子ヴィンヤードだからこその自然や環境のほか、絶滅危惧種であるオオルリシジミをはじめとした希少種を守る取り組みや活動が、日本や世界にとって大切だと改めて感じました。今後は、地球環境のことを考えながら生活していきたいと思います。

キリングループは、ユースの環境活動を応援しています。





SGホールディングス株式会社

日本のCO₂排出量のうち、運輸部門（自家用車をはじめとした車両、船舶等）の排出量は17.4%＊を占めています。当社グループは物流という社会インフラを担う企業グループとして、多くの貨物自動車を使用しており、脱炭素社会に向けた取り組みは責務であると認識しています。

喫緊の課題である地球温暖化防止への対策をこれまで以上に強化すべきと捉え、様々な施策を展開しています。ステークホルダーの皆さまとも協力しながら、サプライチェーン全体での排出削減に取り組んでいます。

＊国土交通省ウェブサイト「運輸部門における二酸化炭素排出」参照、数値は2021年度の実績

SGホールディングスグループ 脱炭素ビジョン

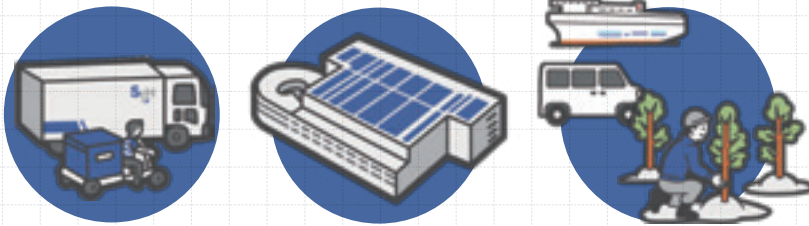
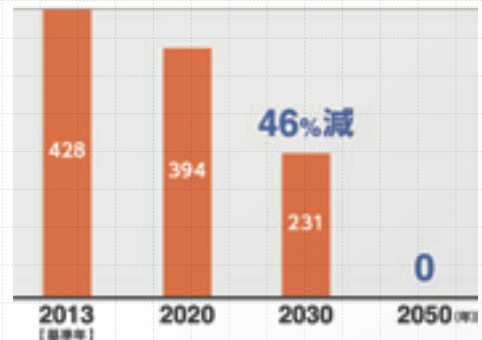
SGホールディングスグループは、ステークホルダーの皆さまとともに、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めています。

- 1 車両から排出される温室効果ガスの削減
- 2 再生可能エネルギー由来の電気の使用推進
- 3 サプライチェーン全体での排出削減

排出削減目標

- 2030年までにCO₂排出量46%減（2013年度比）
- 2050年までのカーボンニュートラル（いずれもスコープ1・2が対象）

CO₂ 実排出量（千t-CO₂）



脱炭素への主な取り組み

環境対応車の導入

保有車両に占めるEVやハイブリッドトラックなどの環境対応車の割合を、2021年度の59%から、2030年度には98%に。

配送に特化したEVの開発に着手



再生可能エネルギーの活用

全国の保有施設約100ヶ所に太陽光発電設備を設置し、電力会社への電力供給や自家消費を行っています。

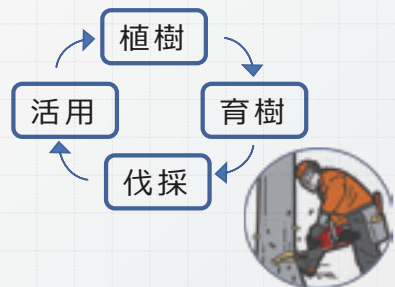
SGリアルティ東大阪



森林保全

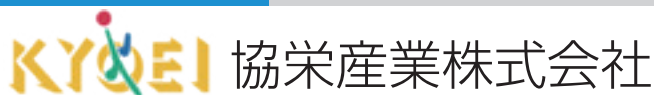
高知・徳島両県に7つの山林を所有し、地元森林組合の協力を得ながら管理。植樹から木材活用までを循環させる仕組みづくりを実施しています。

森林サイクル



SGホールディングスは、ユースの環境活動を応援しています。





協栄産業株式会社

茨城県立緑岡高等学校 生物部

2024年1月20日(土)、茨城県立緑岡高等学校・生物部の生徒7名が高校生企業環境研修に参加。茨城県笠間市にある協栄産業グループ ジャパンテック株式会社・東日本PETボトルMRセンターを視察し、ペットボトルの水平リサイクルなどについて学びました。



協栄産業と緑岡高校のみなさん

研修内容

ペットボトルの水平リサイクルで カーボンニュートラルと持続可能な社会の実現に貢献します

◆日本初の「ボトルtoボトル」から、世界初の「FtoPダイレクトリサイクル」へ

協栄産業グループは、2011年に独自開発した不純物を徹底的に取り除くと同時に物性の回復を実現するメカニカルリサイクル技術による「ボトルtoボトル水平リサイクル^{*1}」を日本で初めて実現しました。この技術によって作られた再生原料は、石油由来原料と同等の品質を有し、石油由来原料からの製造時と比べCO2排出量を約63%も削減することができます。現在、弊社の再生原料は多くの清涼飲料水に採用されています。

2018年には更なる技術革新を追求し、PETフレークから直接ペットボトルの原型となるプリフォームの製造する世界初の「FtoP^{*2}ダイレクトリサイクル技術」を実現いたしました。この技術は、従来の再生法と比べ、製造・輸送など多くの工程を削減しCO2排出量を約70%も削減することができます。

*1使用済みペットボトルから再びペットボトルへと生まれ変わらせる技術 *2フレークtoプリフォーム



研修の様子

🌱 小さなことからできること

弊社グループは、街中から排出される使用済みペットボトルを都市から湧き出る貴重な「都市油田」と捉え、ペットボトル資源の循環を通して、次世代の子供たちに豊かな地球環境と限りある資源を繋ぐために、ペットボトルリサイクルに取り組んでおります。資源を循環させ、様々なものへ生まれ変わらせるためには、きれいなペットボトルの収集が不可欠となります。そのためには、皆様が普段行っている「ペットボトルの中を軽くすすぎ、ラベルを取ってキャップを外す」といった分別が重要になってきます。ご家庭だけでなく、外出先でも分別を行うことで、あらゆるペットボトルが高品質な原料へと生まれ変わり、再びペットボトルとして生まれ変わることができます。地球環境を守り、限りある資源を未来に残していくため、これからも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



ペットボトルリサイクルで貢献する5つのSDGs

高校生の感想

雨谷 慎大 さん

今回の研修を通して、全く知らなかったペットボトルのリサイクル工程を実際に見ることができてとても良い体験となりました。協栄産業様のリサイクルについての熱意と未来を見据える姿勢を感じ、将来を考えた取り組みを知るとともに、私たち個人でもできることを取り組むことが大切と考えました。



五十嵐 淳介 さん

この研修を通してペットボトルのリサイクルの仕組みを実際目でみて学ぶことができた。今までリサイクルについてまったく考えずに生活していたが、ペットボトルのラベルを剥がしたりするなど自分でできることがあると分かったので実践しようと思った。



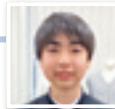
碓氷 慶佑 さん

今回の研修ではペットボトルのリサイクルの過程について学ぶことが出来ました。工場見学では、特に分別の過程がとても大変だと感じたので今後自分が捨てる時には、しっかりとラベルやキャップをとること、中にはいれないことを徹底していきたいと思いました。



川松 陸駆 さん

普段何気なく使っているペットボトルが再生される工程を知ることができ非常に貴重な機会になりました。また、普段の日常生活の中でもリサイクルについてもっと意識して生活してみようと思うきっかけになった有意義な研修でした。



根本 健弘 さん

今回の研修を通して、知らなかったリサイクルの仕組みや私達にできることを知ることができた。普段の私達がリサイクルに関して本当に無関心であったと感じた。そして、リサイクルについて考える良いきっかけになった。



山崎 琉維 さん

今回の研修がペットボトルのリサイクル工場だと聞いたとき、ただ溶かして固めるだけのものだと思っていたが、実際は溶かすたびに強度が落ちてしまい、簡単にはリサイクルができないと知り興味を持てた。また、機械で弾けないゴミなどは人の手を使って取り除いているそうなのでゴミを捨てるときは気をつけようと思った。



渡辺 夏依 さん

今回の工場見学で実際にペットボトルのリサイクル工程を見たり説明を受けて、より一層ペットボトルリサイクルの重要性を再認識できました。限られた資源の中で私たちは生活しなければならないことを理解し、これからもペットボトルに限らず環境のためのリサイクル活動を行いたいと思います。



協栄産業は、ユースの環境活動を応援しています。



TANITA タニタ

東京都立南多摩中等教育学校

2023年11月19日(日)、東京都立南多摩中等教育学校の生徒5名が高校生企業SDGs研修に参加しました。研修先は「タニタ」。タニタが主体となって推進する「ご当地タニタごはんコンテスト」を視察し、一般審査員も担当。タニタが取組む「健康」、「食」、「SDGs」について学びました。



東京都立南多摩中等教育学校のみなさん
コンテストの一般審査員も担当しました！

『第6回ご当地タニタごはんコンテスト全国大会』～ヘルシー郷土料理で健康まちおこし～

ご当地
**タニタごはん
コンテスト**
ヘルシー郷土料理で健康まちおこし

今年、6回目を迎えた「ご当地タニタごはんコンテスト～ヘルシー郷土料理で健康まちおこし～」。「日本を丸ごと食する」をテーマにこれまでにない日本の食文化に触れてもらうきっかけとしてスタートしました。郷土料理の継承とともに、新しい地域の特産品として広く認知・普及させ、地域の活性化に結び付けます。

コンセプト ① 郷土料理の継承 ② 人材育成 ③ 地域活性化



激しい予選を勝ち抜いた
15チームが出場!!

『第6回ご当地タニタごはんコンテスト』表彰 (料理抜粋)

👑 **グランプリ**

石川



さ・さ・ささ寿司
～三種のサラダ笹寿司～等

👑 **準グランプリ**

東京



冷やしねぎま鍋
～締めは冷やし茶づけ～等

👑 **準グランプリ**

山口



～山口の「晴れの日」継承定食～

👑 **特別賞**

鹿児島



豚味噌焼きおにぎりで奄美の鳥飯風
～茶節とともに～等

タニタ × 東京都立南多摩中等教育学校 (高校生 企業SDGs研修)

企業SDGs研修

健康総合企業のタニタ。健康習慣によって自らの可能性を広げ、幸せを感じられる社会を目指すことを企業ビジョンとしています。ご当地タニタごはんコンテストは、「タニタが考える健康的な食事の目安」で、健康的かつ地域の新たな食の可能性を創造し、郷土料理の技術や歴史を次世代に継承していくことを目標に開催。まさにSDGsに寄与しているコンテストです。高校生のみなさんも、未来につながる郷土料理をぜひ地元の方々と一緒に考えてください。



講師
猪野正浩さん

東京都立南多摩中等教育学校 高校生感想

坂野 果子 さん

SDGs研修では、今回のコンテストは参加者の方に健康的な郷土料理について考えてもらうことで日本の健康を促進していると学びました。また、出場したレシピを地域で広めることでコンテスト後も地域活性化・地産地消につながるという仕組みを学び、コンテストだけでは終わらない所に感動しました。全ての団体の熱のこもったプレゼンを聞き、地域の文化や歴史を考え直すきっかけになりました。



松浦 那夏 さん

今回の研修を通して、普段の学校生活では味わえない貴重な体験ができました。また、SDGsの達成状況について、様々な取り組みがなされているものの、十分な結果が出ていない部分が多々あるということを知りました。社会全体で目標達成への取り組みが行われている中、その成果や進捗についても広く認識していくことが大切なのではないかと思えます。ありがとうございました。



山田 英恵 さん

タニタご当地コンテストの一般審査員での経験を通して、今まで行ったことがない地域や、まだ食べたことのない郷土料理について知ることができました。また、出演者のプレゼンや試食を通して料理だけでなく、その土地の特色や、出演者の思いを知ることができました。郷土料理を知り、伝え、守っていく大切さに気づき、私も自分の住んでいる地域の郷土料理を作ってみたいと思いました。



滝島 綺華 さん

学校の活動で日々SDGsには触れてきていますが、今回のコンテストで対象となっている3つの目標に関しては関わる機会が少なかったものだったのでとても新鮮でした。郷土料理の根底の大事な部分をしっかり受け継ぎながら現代のニーズに合わせていて、考え尽くされているのだなと思いました。今回学んだことを活かしてこれからの活動に励んでいきたいです。ありがとうございました。



長谷川 蒼 さん

講習を通して、その地域で生産から販売までが完結する郷土料理を受け継いでいくことは、持続可能な社会を日本全国で達成するために不可欠であると感じました。さらに、今までSDGsと言ったらプラスチック削減や二酸化炭素削減など、消費者側で出来ることしか考えていませんでしたが、今回の大会を経験して、生産者側としても何かできることはないかと考えるようになりました。



タニタは、ユース世代のSDGs活動を応援しています。

全国大学生グリーンミーティング 2023 秋

「全国大学生グリーンミーティング」は、環境活動やSDGs活動を実践している大学生が集まり、情報交換を通じて交流を深めるミーティング。
2023年10月7日(土) オンラインで開催！全国の大学生6団体が参加しました！

主催：独立行政法人環境再生保全機構 全国ユース環境ネットワーク
共催：全国大学生環境活動コンテスト実行委員会事務局



参加大学・団体

北見工業大学	環境保全学生委員会(KITeco)
京都工芸繊維大学	環境サークルあーす
近畿大学農学部	学生団体FeeLink
香川大学	学生ESDプロジェクトSteeep
長崎大学	エコマジック
立命館アジア太平洋大学	ECOS

今回のテーマ 私たちの環境活動、SDGs活動 ～これからやりたいこと～

実施内容 ◆情報共有(ミニセミナー) = 「SDGsの再確認」 ◆大学生同士の交流ミーティング

「全国大学生グリーンミーティング 2023 秋」では、6団体が集まり、情報交換を通じて交流を深めるミーティングを行いました。参加団体の活動共有や、参加者自身の今後の活動や日常生活とSDGsとの関わり方を確認し、持続可能な社会について改めて考える機会になりました。

前半はSDGsに関する情報提供を行い、参加団体の学生にSDGsについて考える機会を提供しました。後半で実施したグループワークでは、まずは参加団体がバラバラになりグループを組み、自分の活動を他団体の学生に紹介しようワークを実施しました。その後、参加団体ごとにグループを作り、その前のグループワークの話を聞く中で、今後活かせることや、得たアイデアなどを共有しました。

グループワークを経て、「自分たちの団体の今後の活動のヒントになった」というような声が参加者から聞かれました。

参加者の声

- ◆ 今回が初めての参加となったが、様々な団体の活動を聴くことができとても参考になった。
- ◆ 他の団体の方がどのように活動しているのかわかって良かった。いいところを私たちの活動に活かしたいと思う。
- ◆ 学生間での話し合いが主体だったので身近な問題を共有したり、解決の手がかりを知ることができた。

全国大学生環境活動コンテストとは…

大学生の環境活動の活性化を通じた持続可能な社会の実現を目指し、学生ネットワークの形成、大学生環境活動団体の交流会の実施、年に1度の全国大学生環境活動コンテスト (ecocon) を行っています。

ecoconは2003年より開催しており、第18回までにのべ700団体以上、総勢1万人以上が参加するなど、学生の環境活動の中での役割を確立しています。



連絡先

全国大学生環境活動コンテスト(エココン) 実行委員会事務局
tel: 03-5402-5355
mail: ecoconstaff@gmail.com(株式会社ダイナックス都市環境研究所内)

環境活動やSDGs活動をしている大学生サークルのみなさん！ぜひ一度、エココンの事務局に連絡してください。

独立行政法人環境再生保全機構は、全国大学生環境活動コンテスト (ecocon) を応援しています。



大学生の活動団体

今年度、全国大学生グリーンミーティングに参加した20団体

北見工業大学

環境保全学生委員会(KITeco)

人にやさしくオ
ホーツクにやさ
しく



筑波大学

ECHO UT

Taking action
for a more
sustainable
University of
Tsukuba



筑波大学

REVELOP

ボランティアで
ない環境対策を



千葉大学

環境ISO学生委員会

環境啓発イベ
ント開催からEMS
運用まですべて
「学生主体」で
行っています！



芝浦工業大学

SDGs学生委員綾いと

一人でも多くの人
にSDGsを他人事
とせず、問題意
識を持ってもらう



芝浦工業大学

石垣島をもっと元気にするプロジェクト

石垣島の文化も
環境も元気
に！！



上智大学

+Re : (プラリ)

社会の8割(=環
境問題にあまり
関心がない人)
を巻き込む！



早稲田大学

環境ロドリゲス

学生が主体と
なって多様なア
プローチから環境
解決に貢献する



東京農工大学

のこすまいと

食品ロス削減に関するア
クションを学生主体で行
うことで、大学のある府
中市や国分寺市との関
わり合いも作っていき



東京農工大学

プラごみ減らし隊

東京農工大学プ
ラシック削減
5Rキャンパス
の活動を学生主
導で推進



大妻女子大学

環境クラブS.O.W

都心で自然と触
れ合おう



フェリス女学院大学

エコキャンパス研究会

持続可能なまち
を地域のみな
さんとつくる



岐阜大学

環境ユニバーシティ学生推進室(G-amnet)

わたしたちだか
らできること



京都工芸繊維大学

環境サークルあーす

デザイン×環境
問題



近畿大学農学部

学生団体FeeLink

「人と環境の架
け橋」になるこ
とをキーワード
に環境活動を行
っています



公立鳥取環境大学

学生EMS委員会

みんなが愛する
学校を創ろう



香川大学

学生ESDプロジェクトSteeep

香川から世界へ
エコな社会を目
指して



九州大学

環境サークルEcoa

地域にやさし
く、その前に人
にやさしく



長崎大学

エコマジック

ゆるく気軽にボ
ランティアを



立命館アジア太平洋大学

ECOS

ECOSが持続可能
な取り組みを通じ
て地域社会と繋が
って、環境市民とし
て育成する団体





HP & Youtube 案内



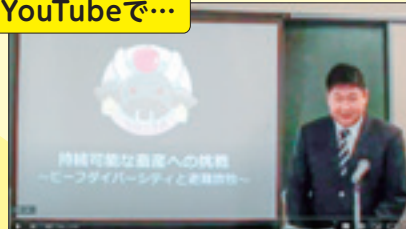
全国ユース環境ネットワークHPでは地方大会、全国大会の結果や発表の様子に加え、大会に応募いただいた全国の高校生の活動内容を掲載しています。

ほかの高校生がどのような活動を行っているか、ぜひ、ご覧ください！

PDFで…



YouTubeで…



検索 **第9回全国ユース環境活動発表大会** 検索

全国の高校生の環境活動・SDGs活動を、**YouTube**・**PDF**でご覧いただけます。

(一部高校を除く)



第9回全国ユース環境活動発表大会を終えて

全国ユース環境ネットワーク事務局です。皆様のご協力により、第9回全国ユース環境活動発表大会を終えることができました。ご応募いただいた全ての高校生の皆さん、先生方に、心より御礼申し上げます。

今後も環境活動を継続し、次回の大会にもご応募いただきますよう、お願いいたします！

たくさんのご応募、ありがとうございました！
次回の大会もよろしくお祈りします！



全国ユース環境ネットワーク事務局

- 〈主催〉全国ユース環境活動発表大会 実行委員会（環境省／独立行政法人環境再生保全機構／国連大学サステナビリティ高等研究所）
 〈後援〉読売新聞社 〈協力〉地方環境パートナーシップオフィス（EPO）、地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）、ESD活動支援センター
 〈協賛〉キリンホールディングス株式会社、協栄産業株式会社、SGホールディングス株式会社、株式会社タニタ

私たちは、ユースの
環境活動を応援しています。



環境再生保全機構からのお知らせ

読み終わった本で環境保全活動に貢献しませんか？



「本de寄付」は本やDVDの買取金額が寄付金となり、NGO・NPOの環境保全活動に役立てられます。

①読み終わった本を
段ボール箱へ

〈送れるもの〉
書籍・コミック・CD・
DVD、ゲームソフトなど

②「本de寄付」に
申込む

ホームページ・
TELからお申し込み下さい。



③送料無料で
お引き取り

ご指定の日時に
配送業者が無料で
集荷に伺います。

④買取金額が
寄付される

ご寄付額を記載した
お礼状を送付します。

お問い合わせ(平日10:00~17:00) ●申し込み先 ☎ 044-520-9606

SNSでユース事業のほか、助成団体の活動、地球環境基金のイベント、講座、研修のご案内等を発信しています！

フォローお願いします！

X (旧Twitter)



Facebook

